

日本海沿岸東北自動車道 (二ツ井白神～あきた北空港) 計画段階評価について

1. 前回(第2回東北地方小委員会)の主な議事内容・・・ 1
2. 地域からの意見聴取結果・・・ 2
3. 計画段階評価・・・ 12

国土交通省 東北地方整備局 能代河川国道事務所

平成23年8月

1 前回(第2回東北地方小委員会)の主な議事内容

◆第2回東北地方小委員会

平成23年1月18日(火)開催

◆主な議事

・経過報告 計画段階評価 日本海沿岸東北自動車道(二ツ井白神～あきた北空港)

【主な意見と対応結果】

・農業にかかる効果は、空港とも繋がるので空港を利用した新たなビジネス等にも期待したい。

・チラシ・アンケートを読むのが大変であり、簡略化を図るべき。

→チラシ・アンケートについては簡略化を図り修正

・ハガキの職業欄には「農業」も入れた方が良い。

→農業を反映

・アンケート質問②(主な利用目的)「1通勤」「4仕事」の区別がつきづらい

→「通勤」を「通勤・通学」、「仕事」を「営業・運送等」に修正

アンケート質問④(重要と思う政策目標)と⑥(必要と考える道路の役割)が内容が被っている

→必要と考える道路の役割に政策目標の内容を集約し1つの質問に修正

2 地域からの意見聴取結果(実施内容の総括)

次の5項目について実施

【1月下旬～2月下旬】

実施項目	回答方法	実施概要
住民アンケート	ハガキ インターネット	<ul style="list-style-type: none"> ■対象：県北9市町村の住民 他 ■募集期間：2月1日～28日（消印有効） ■実施内容：説明会、オープンハウス、投函BOX、HP等 ■配布部数：約99,000部 ■回答数：3,457（インターネット含む）
企業ヒアリング	ヒアリング	<ul style="list-style-type: none"> ■方法：ヒアリング ■対象：15企業等 <ul style="list-style-type: none"> ・医療関係：3機関 ・リサイクル産業関係：3社 ・観光関係：3社 ・農業関係：3機関 ・物流関係：3社
高校生アンケート	ハガキ	<ul style="list-style-type: none"> ■対象：県北の高校3校の在校生 ■配布部数：800部 ■回答数：660部

住民アンケートの速報結果を添付して下記意見照会を実施

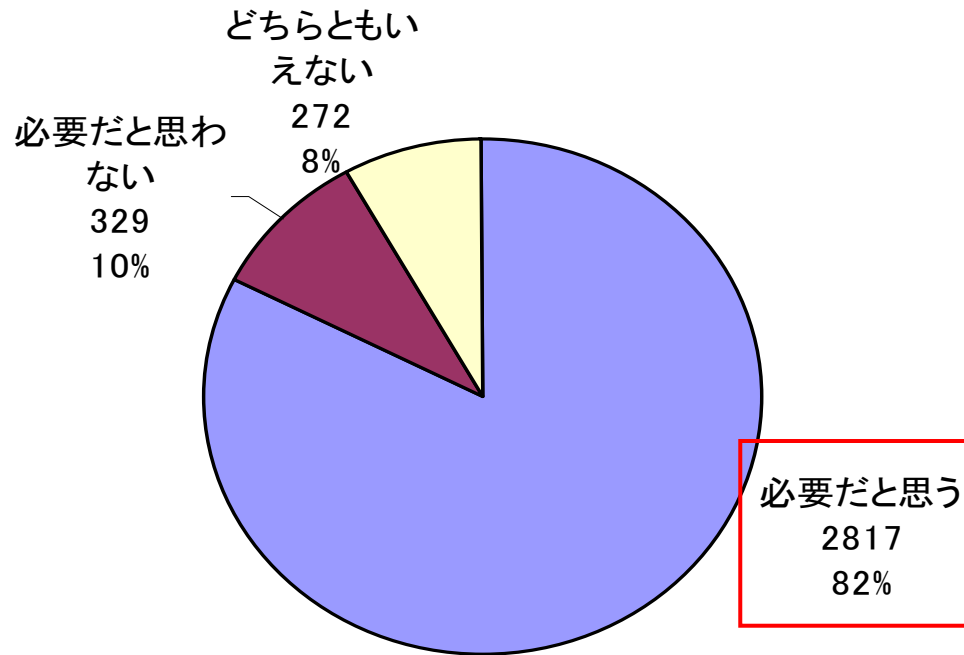
【3月上旬】

実施項目	回答方法	実施概要
市町村長意見照会	文書	■対象：県北9市町村長
商工会議所意見照会	文書	■対象：能代及び大館商工会議所

2 地域からの意見聴取結果(住民アンケートの結果概括)

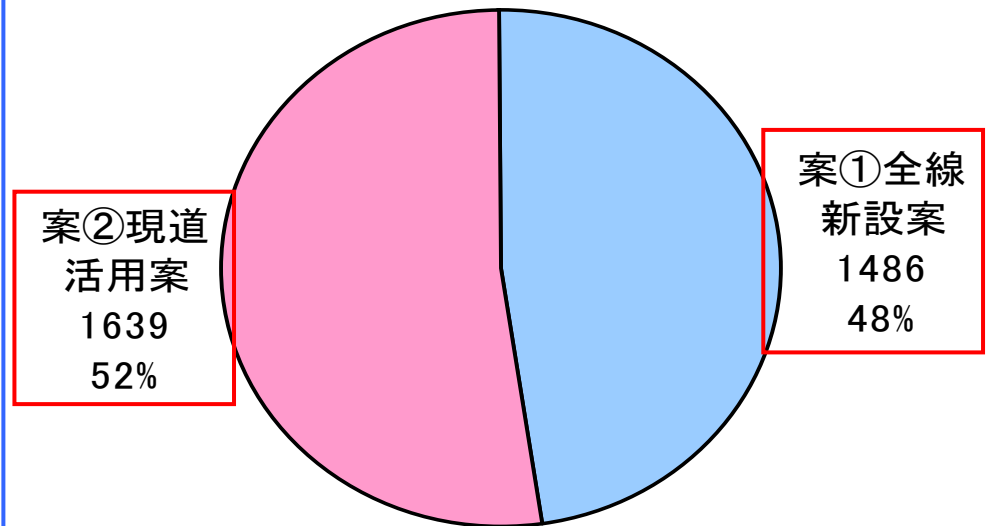
- 「必要だと思う」82%を占める
- 比較ルートとしては「現道活用案」がわずかに「全線新設案」を上回る

設問④ 整備の必要性



有効回答数:3,418

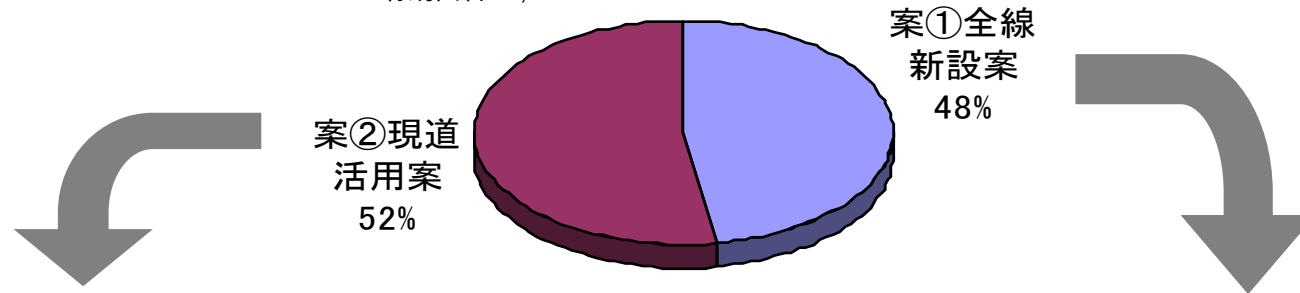
設問⑥ ルート帯比較



有効回答数:3,125

2 地域からの意見聴取結果(比較ルート案の選択理由)

有効回答: 3,125



案②を選択した数: 1639

◆選択理由(代表意見)

主要な意見

- ・事業費が安くすむから(236)
- ・早く開通してほしいから(207)
- ・アクセス性(利便性)が高いから(23)
- ・環境を守りたい(16)
- ・白神山地への利便性がよい(4)

案①を選択した数: 1486

◆選択理由(代表意見)

- ・安全な道路がほしい(53)
- ・長期的に見れば案①がよい(28)
- ・事業費がほぼ変わらない(24)
- ・どうせならよいものがほしい(10)
- ・工事しやすい(4)
- ・現道は冬期が危険(4)

【案②のデメリットを理由にしている意見】

- ・案②は事故や混雑が悪化する可能性がある(44)
- ・現道は従来どおり利用したい(29)

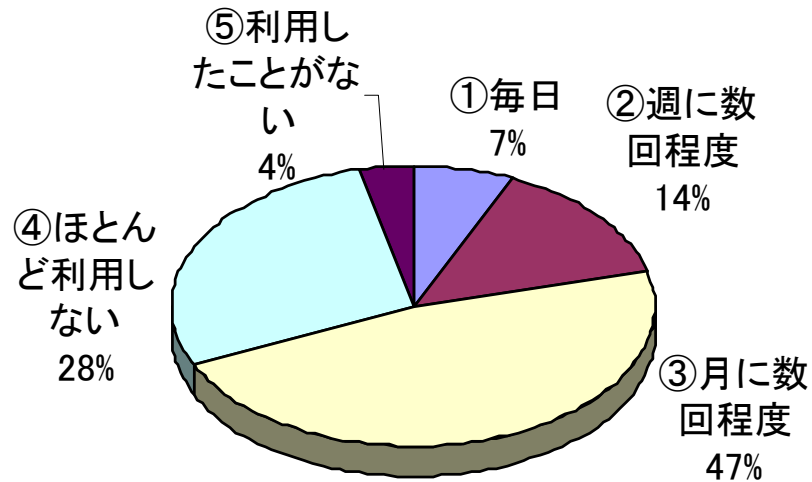
安く、早く開通してほしいというニーズが多数。

2 地域からの意見聴取結果(その他設問)

地域別集計

設問① 現道利用頻度

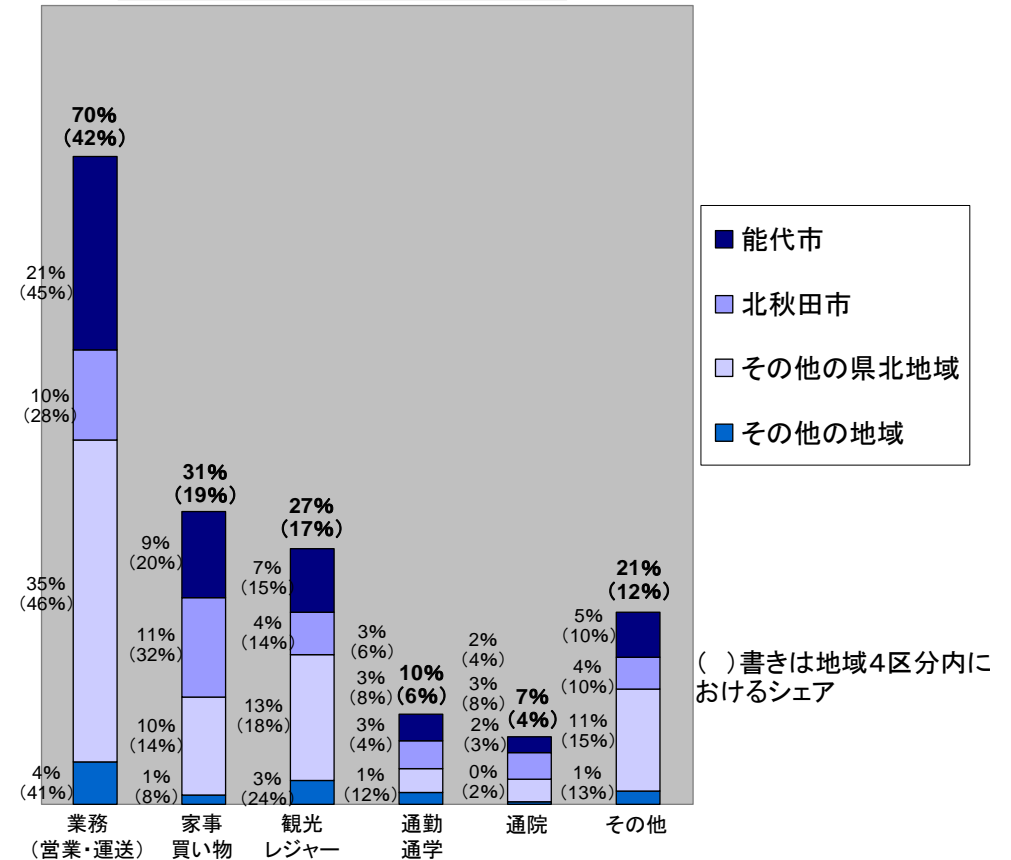
有効回答数:3,448



- 「月に数回程度」がほぼ半数を占める
- 「ほとんど利用しない」「利用したことがない」32%

設問② 現道利用目的

回答者数:2,915名



- 「業務(営業・運送)」に対する回答が最も多く、回答者の約7割が現道利用目的の一つに挙げている。
- ただし、北秋田市では「家事・買い物」が最も多い。

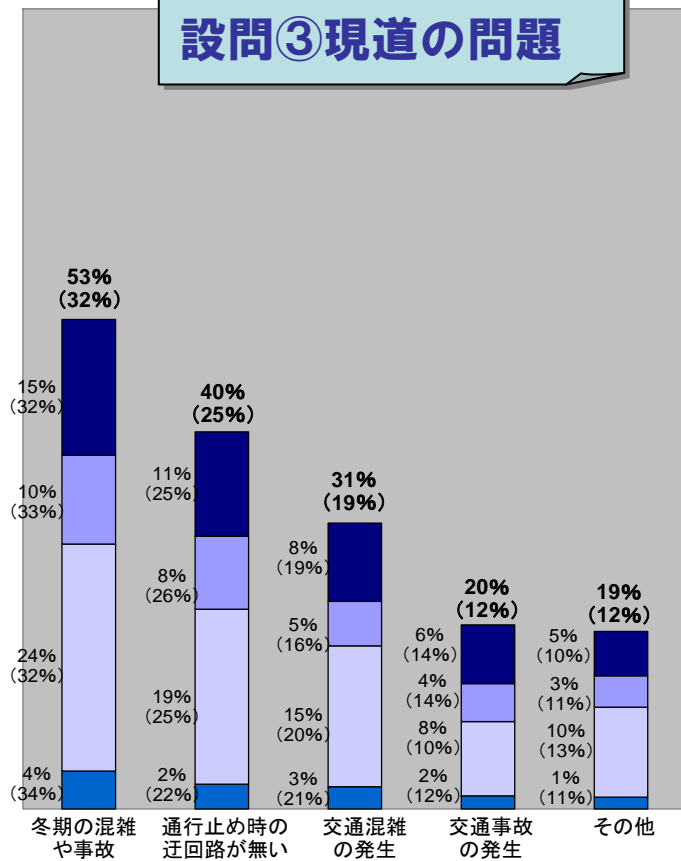
2 地域からの意見聴取結果(その他設問)

地域別集計

回答者数:2,915名

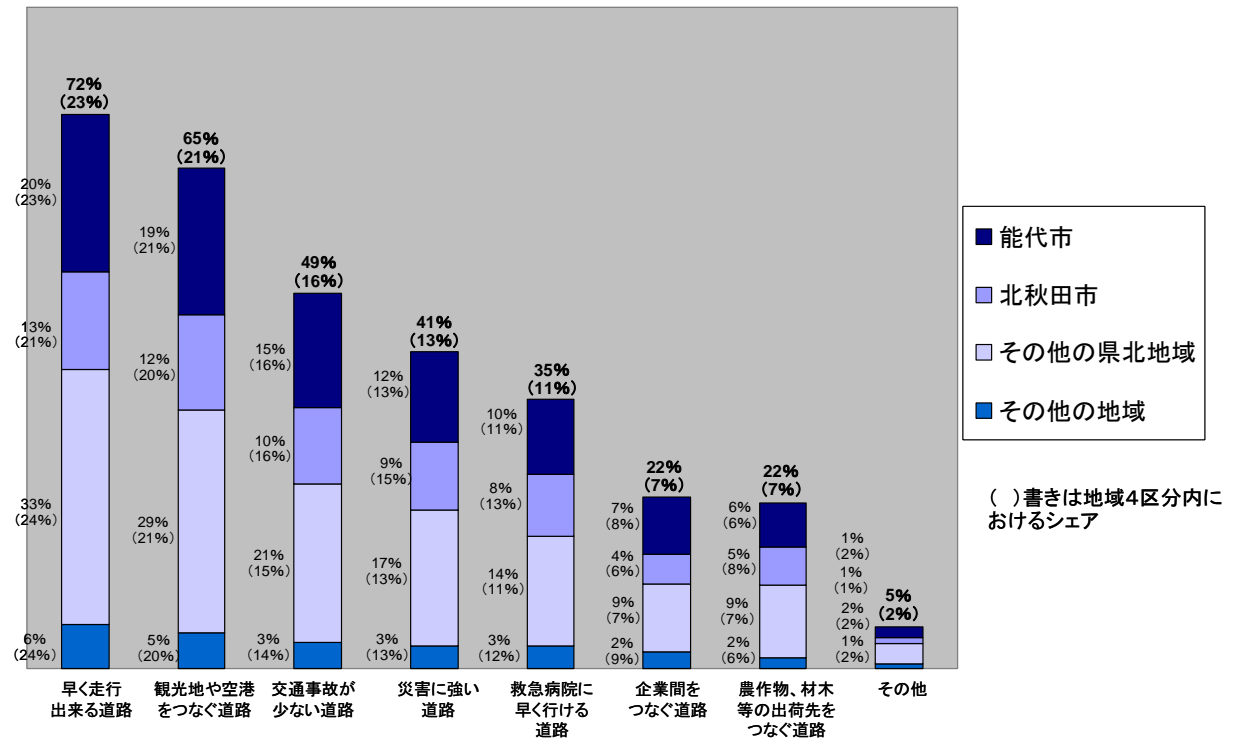
回答割合(%)=各項目回答者数(名)÷回答者数2,915(名)

設問③現道の問題



- 「冬期の混雑や事故」に対する回答が最も多く、回答者の5割以上が現道問題の一つに挙げている。
- 上記の傾向は全ての地域で同様である。

設問⑤望まれる役割



- 「早く走行できる道路」、「観光地や空港をつなぐ道路」に対し、回答者の約7割程度が望まれる役割の一つに挙げている。
- 上記の傾向は全ての地域で同様である。

2 地域からの意見聴取結果(企業ヒアリング)

分野	企業名	比較案	意見
病院	A消防本部	案①全線新設	能代、大館への搬送実績が多く、1分でも通過時間が早い方が望ましい
	B病院	案②現道活用	早急に整備して、早期に利用できることを望む
	C消防本部	案①全線新設	早期の整備も必要だが、どちらかと言えば大館市内等への救急搬送や災害出動があるので、より早く通過できる全線新設案を要望
リサイクル	A社	案①全線新設	関連企業間の輸送が主であり、秋田～大館間等をより早く走行可能な道路の整備を望む
	B社	案②現道活用	現実的な案である。今後日沿道の整備が進めばR285軸からR7軸に輸送ルートを変更する予定
	C社	案②現道活用	リサイクルポートの後背地使用のためにも早期の利用を望む
観光	A社	案②現道活用	お客様は県北一円に住んでおり、現在の道路での乗降が必要なため、現道活用案がベターである
	B社	案②現道活用	早く整備ができ、早期に利用可能となるため
	C社	案②現道活用	大館能代空港の利便性向上のため現道活用案がよい。一刻も早く整備してほしい
農業	A農協	案①全線新設	1分でも早く通過ができる高速ネットワークを確立すべき。その方が広域観光にも有利と思う
	B農協	案②現道活用	現実的な案である。早急に整備して、早く利用可能となることを望んでいる
	C農協	案①全線新設	秋田までの用事が多く、非常に遠いと感じている。早期に整備してほしいが、整備するなら1分でも早い方が望ましい
物流	A社	案①全線新設	大館方面への輸送において、二ツ井～鷹巣間で途中下車することがないため全線新設案がよい
	B社	案①全線新設	2案とも同程度の事業費となっている。事業費が高額であり、事業費の改善や圧縮ができるなら案②がよい
	C社	案②現道活用	アクセス性がよく利便性向上となる

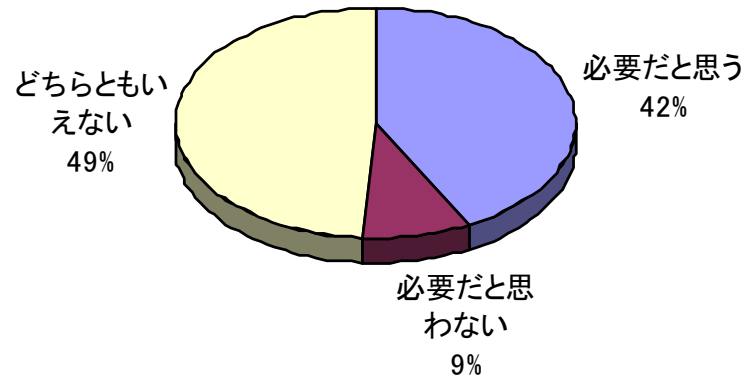


1分でも早く通過できる道路や早期に利用可能な道路がほしいとの意見が多かったほか、利便性向上、事業費の改善や圧縮といった4つの意見が確認できた。

2 地域からの意見聴取結果(高校生アンケートの結果)

設問④整備の必要性

回答数640

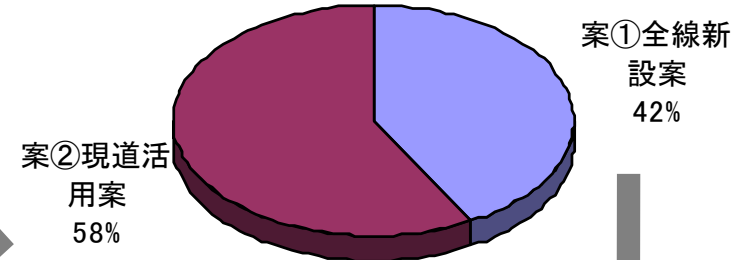


案②現道活用案 選択理由(代表意見)

- ・建設費が安いから(49) 主要な意見
- ・環境破壊防止(8)
- ・利用しやすいから(5)
- ・早期整備(3)

設問⑥ルート案比較

回答数362



案①全線新設案 選択理由(代表意見)

- ・より便利になる(8)
- ・早く移動できる(6)
- ・走りやすい道路が欲しい(4回答)

- ・経済性への関心が高い。
- ・環境に対する関心が見受けられる。

2 地域からの意見聴取(まとめ)

①住民アンケート

- ・当該地域に道路整備は必要
- ・事業費が安く早く開通できる道路へのニーズが高い

②企業ヒアリング

- ・当該地域に道路整備は必要
- ・1分でも早い道路や早期に利用可能な道路がほしいとの意見が大半
- ・利便性向上や事業費の改善・圧縮への意見も確認できた

③高校生アンケート

- ・経済性への関心が高い
- ・環境への関心も見受けられる。

6. 地域からの意見聴取結果(市町村長、商工会議所の意見照会結果)

住民アンケート結果(速報版)を添付して実施

団体名	比較案について	選択の理由
能代市長	案②現道活用案	冬季の混雑や事故、通行止め時の迂回路が無いことを問題点とされているほか、整備の必要性も高い数値となっていることから、本地域における安全・安心な道路整備は急務であると考えます。
北秋田市長	案②現道活用案	県北地域の産業・経済・文化の振興や防災、救急医療などの面から日本海沿岸東北自動車道の早期整備は不可欠であり、二ツ井白神～あきた北空港における整備が必要という要望が圧倒的である。 また、当区間の問題として、冬季の混雑や事故、通行止め時の迂回路が無い事が上げられる。
大館市長	案②現道活用案	北秋田地域の産業・経済・文化の振興や防災、救急医療などの面から日本海沿岸東北自動車道の早期整備は不可欠であり、二ツ井白神～あきた北空港における整備が必要という意見が圧倒的である。 また、当区間の問題として、冬期の混雑や事故、通行止め時の迂回路が無い事が上げられる。
鹿角市長	案②現道活用案	整備費用、整備効果の早期発現性の観点から、現段階では現道活用案が望ましいが、沿線住民の生活や環境について最大限配慮いただき、長期的な視点で社会経済情勢を見極めた上で、総合的に判断をして欲しい。
三種町長	案②現道活用案	比較的低コストで利便性の向上が期待できる現道活用案を支持いたします。高速交通はネットワークを形成してこそ効果を発揮するものであり、現在事業化が白紙状態の当区間に対し、道路機能の強化をはかりながら早期に開通に向け前進するよう要望いたします。
八峰町長	案②現道活用案	能代山本地域を含む北秋田地域には、産業・経済・文化の振興や防災、救急医療などの面から日本海沿岸東北自動車道の早期整備は不可欠であり、二ツ井白神～あきた北空港における整備が必要という意見が圧倒的であります。 また、当区間の問題として、冬期の混雑や事故、通行止めの際の迂回路が無いことが上げられる。
藤里町長	案②現道活用案	能代山本地域の産業・経済・文化の振興、救急医療や消防活動の輸送路確保、世界自然遺産地域内へのアクセス道路として、広域観光の振興や冬期交通の確保、さらには通勤・通学など、地域住民の生活に欠かすことのできない重要路線であり、整備が必要という意見が圧倒的である。 当区間の問題として冬期の混雑や事故、通行止め時の迂回路が無いことを上げる住民が多い。 各視点を考慮し、総合的に案②(現道活用)が良いと考える。 計画段階評価の試行に対する留意事項について、本格的な少子高齢化社会を迎えた中で、交流促進、医療機関への迅速なアクセス及び交通安全など、安全・安心な生活を支える道路計画としてほしい。雪国に対応した道路構造計画としてほしい。

6. 地域からの意見聴取結果(市町村長、商工会議所の意見照会結果)

団体名	比較案について	選 択 の 理 由
小坂町長	案②現道活用品	秋田県北部はエコタウン地域として国の承認を受けております。特に当町にある精錬所は安全に有用金属を回収できる施設として、世界的に認知されておりすでに稼働を開始しております。原材料は海外からも運ばれてきており、安心・安全な輸送路として日沿道は極めて重要な路線であり 一日も早い全線開通 をこれからも引き続き声高に要望してまいりたいと考えております。高規格道路というものは、全線が繋がって初めて効果を発揮するものであることは、多くの専門家も言われていることであり、当町としても 極力建設費を抑えた 現道活用品を支持するものです。
上小阿仁村長	案②現道活用品	各視点を考慮し、総合的に案②が良いと考える。 財政上のこと 早期実現 に向けて現道活用品がいいのではないかと考える。 計画段階評価の試行に対する留意事項について、 雪国に対応した道路構造計画 としてほしい。
能代商工会議所会頭	案②現道活用品	秋田県北部地域の成長力や競争力の強化を図るためには、環日本海地域をはじめとする県内外との物流・交流の連携強化が重要であり、特に、県北地域における「世界有数のリサイクル産業拠点」と物流拠点であるリサイクルポート「能代港」を結ぶ高速道路の 早期整備 が、地域活性化の鍵を握っています。 また、速達性や走行性に優れた高速道路は、大館能代空港へのアクセス性向上による観光客の増加など、県北の産業振興や経済発展を支える基礎的なインフラであるほか、救命率向上に影響を与える「高次救急医療施設への搬送時間」の短縮など、救急医療体制の充実に向け、 早期整備 が求められています。 高速道路の整備にあたっては、速やかにネットワークを構築することにより、 整備効果を早期に発現 させることが重要であるため、 事業期間の短縮やコスト縮減 が可能となる「現道を活用した道路整備」を進めるよう強く要望します。
大館商工会議所会頭	案②現道活用品	コスト面 において有利と考えられる。未開通区間を繋げることにより、これまで以上に早く走行できる。観光地や空港へのアクセス道として有効である。 交通混雑や交通渋滞の解消につながる。農作物や木材等の出荷を繋ぎ、リサイクル関連企業間を繋ぐなど能代リサイクル港へのアクセスとしても有効であること。 救急救命病院に早く到達できる道路としても有効であること。

冬期交通の安全性確保した、低コストで早期整備効果が発現できる道路への意向が確認された

3 計画段階評価

代替案の比較

	【案①】全線新設案 (新しい高速道路を造る案)	【案②】現道活用案 (現在の道路を有効活用して 高速道路を造る案)
--	-----------------------------------	--

概要・特徴・効果(前回提示)

概要	ニツ井白神IC～あきた北空港IC(仮称)間を、新しい高速道路でつなぐ案	比較的走行性の良い現道(ニツ井バイパス、あきた北空港西線)を有効活用し、小繋～今泉間を改良(新しい道路でつなぐことも想定)する案 ※現道は交差点立体化等により自動車専用道路化
特徴	整備効果発現	・建設期間が長く全線完成するまで利用できない ・小繋～今泉間が先行整備され早期に利用可能
	利便性	・アクセスポイントが起終点IC2箇所のみで、IC以外では乗り入れができない ・アクセスポイント9箇所から乗り入れ可能
	現道利用の変化	・現道の利用は従来どおり ・現道活用区間での自動車専用道路化に伴い、自転車・歩行者等は迂回等が必要(完成時)
	代替機能	・事故や災害で通行止めの際には、国道7号及び旧国道7号(県道)が迂回路となる (ただし、先行整備時にニツ井高架橋～きみまち阪交差点間が通行止めの際には、大型車に限り、大幅な迂回が必要)
	環境への影響	・希少猛禽類の生息域や、きみまち阪藤里峡県立自然公園を通過するが、トンネル等により影響が小さくなるよう配慮 ・学校や福祉施設等の近傍を通過しない ・きみまち阪藤里峡県立自然公園及び今泉緑地環境保全地域を通過するが、トンネル等により影響が小さくなるよう配慮 ・学校や福祉施設等の近傍を通過しない
	事業費	500～600億円 先行整備：200～300億円 完成：400～500億円
	計画交通量	約10,000台/日 約13,000台/日
政策目標への効果	(指標：北秋田市民病院への60分搬送圏域外人口の改善)	
	高次医療機関への速達性確保	・60分搬送圏域外人口の変化 【現況】 約4.8万人(冬期約5.5万人) 【整備後】 約2.5万人(冬期約3.4万人) 【現況】 約4.8万人(冬期約5.5万人) 【先行整備後】 約2.7万人(冬期約3.5万人) 【完成整備後】 約2.5万人(冬期約3.4万人) 《案1との差：無し》
	(指標：能代港と大館地区の1時間以内達成)	
	リサイクル関連拠点間の速達性確保	能代港～大館地区の移動時間の変化 【現況】 73分(冬期79分) 【整備後】 54分(冬期57分) 能代港～大館地区の移動時間の変化 【現況】 73分(冬期79分) 【先行整備後】 58分(冬期62分) 【完成整備後】 55分(冬期59分) 《案1との差：1分遅い(冬期は2分遅い)》
(指標：秋田中央卸売市場への輸送時間短縮)		
農作物の出荷先への速達性確保	J A あきた北-中央卸売市場の所要時間の変化 【現況】 111分(冬期118分) 【整備後】 90分(冬期94分) J A あきた北-中央卸売市場の所要時間の変化 【現況】 111分(冬期118分) 【先行整備後】 94分(冬期99分) 【完成整備後】 91分(冬期96分) 《案1との差：1分遅い(冬期は2分遅い)》	
(指標：十和田湖と白神山地の所要時間の改善)		
観光拠点間の速達性確保	十和田湖～白神山地の所要時間の変化 【現況】 137分(冬期148分) 【整備後】 94分(冬期101分) 十和田湖～白神山地の所要時間の変化 【現況】 137分(冬期148分) 【先行整備後】 87分(冬期94分) 【完成整備後】 85分(冬期92分) 《案1との差：9分早い(冬期も同じ)》	

※整備後の数値は、現在事業中の他区間の効果を含む



上記を示し、地域からの意見聴取を実施

地域からの意見聴取結果

住民アンケート等	住民アンケート 約99,000部	【代表意見】 ・安全な道路がほしい ・長期的に見れば案①がよい ・事業費がほぼ変わらない ・どうせならよいものがほしい	【代表意見】 ・事業費が安くすむ ・早く開通してほしい ・アクセス性(利便性)が高い ・環境を守りたい
	企業ヒアリング 15社	【代表意見】 ・1分でも早い方がよい (医療関係、リサイクル産業関係、農業関係) ・案②と事業費がほぼ変わらない(物流関係)	【代表意見】 ・現実的である(リサイクル産業関係、農業関係) ・早く利用したい(医療関係、リサイクル産業関係、観光関係、農業関係、物流関係) ・アクセスポイントが多く便利である(物流関係)
	高校生アンケート 3校	【代表意見】 ・より便利になる ・早く移動できるから	【代表意見】 ・建設費が安いから ・環境破壊防止
意見照会	9市町村長	-	【代表意見】 ・冬期交通の安全性確保 ・低コストで早期整備効果が発現できる
	2商工会議所	-	【代表意見】 ・早期整備 ・コスト縮減

「早く利用したい」というニーズを確認し、整備局案を作成

日本海沿岸東北自動車道(二ツ井白神～あきた北空港)における対策案

◆秋田県知事の意見

計画段階評価に係る「日本海沿岸東北自動車道 二ツ井白神～あきた北空港」については、現道活用案で進めることに同意します。

◆対策方針(案)

現道活用案とする。

(理由)

- ・【案②】現道活用案は、政策目標の「高次医療機関への速達性の確保」や「リサイクル関連拠点間の速達性の確保」等に対して【案①】全線新設案と同等の効果が得られる。
- ・【案②】現道活用案は、【案①】全線新設案よりも沿線住民の利便性が高いうえ、費用が安価で、早期に利用が可能であり地域のニーズに答えられる。

2つの案の概要や特徴をまとめました

	【案①】全線新設案 (新しい高速道路を造る案)	【案②】現道活用品 (現在の道路を有効活用して高速道路を造る案)
概要	二ツ井白神IC～あきた北空港IC(仮称)間を、新しい高速道路でつなぐ案	比較的走行性の良い現道(二ツ井バイパス、あきた北空港西線)を有効活用し、小繋～今泉間を改良(新しい道路でつなぐことも想定)する案 ※現道は交差点立体化等により自動車専用道路化
整備効果発現	・建設期間が長く全線完成するまで利用できない	・小繋～今泉間が先行整備され早期に利用可能
利便性	・アクセスポイントが起終点IC2箇所のみで、IC以外では乗り入れができない	・アクセスポイント9箇所から乗り入れ可能
現道利用の変化	・現道の利用は従来どおり	・現道活用区間での自動車専用道路化に伴い、自転車・歩行者等は迂回等が必要(完成時)
代替機能	・事故や災害で通行止めの際には、国道7号及び県道あきた北空港西線が迂回路となる	・通行止めの際には、国道7号及び旧国道7号(県道)が迂回路となる(ただし、先行整備時に二ツ井高架橋～きみまち阪交差点間が通行止めの際には、大型車に限り、大幅な迂回が必要)
環境への影響	・希少猛禽類の生息域や、きみまち阪藤里峡県立自然公園を通過するが、トンネル等により影響が小さくなるよう配慮 ・学校や福祉施設等の近傍を通過しない	・きみまち阪藤里峡県立自然公園及び今泉緑地環境保全地域を通過するが、トンネル等により影響が小さくなるよう配慮 ・学校や福祉施設等の近傍を通過しない
事業費	500～600億円	先行整備:200～300億円 完成:400～500億円

(参考)現地の状況写真です

▼国道7号二ツ井バイパス



二ツ井大橋 二ツ井高架橋

▼国道7号小繋～今泉地区



能代市二ツ井町小繋 能代市二ツ井町小繋(冬期状況)

▼(県)あきた北空港西線



翔鷹大橋 北秋田市坊沢 小ヶ田踏切 川口南交差点

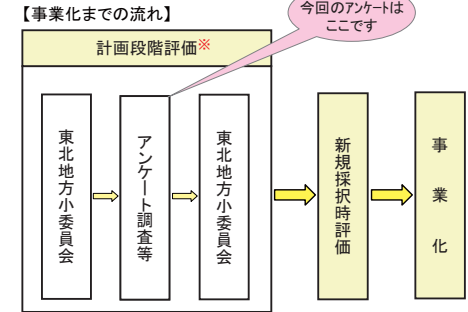
【 問い合わせ先 】

国土交通省 能代河川国道事務所 調査第二課
(TEL) 0185-70-1194 (直通)

にほんかいえんがんとうほくじどうしゃどう
日本海沿岸東北自動車道

ふたつ いしらかみ きたくうこう
二ツ井白神IC～あきた北空港IC(仮称)間の

計画検討に関するアンケート



※計画段階評価とは、公共事業の実施過程の透明性を一層向上させる観点から、代替案の比較評価を行う計画段階において事業評価を行う新しい取り組みです。

東北地方小委員会の資料等は国土交通省東北地方整備局ホームページでご覧頂けます。
URL <http://www.thr.mlit.go.jp/road/ir/shouinkai/index.html>

日本海沿岸東北自動車道は、新潟市から山形県・秋田県を通過して青森市に至る延長約322kmの高速道路です。

今般、未事業化区間である二ツ井白神IC～あきた北空港IC(仮称)間の計画検討にあたり、みなさまのご意見をお聞きしたくアンケートにご協力をお願いします。

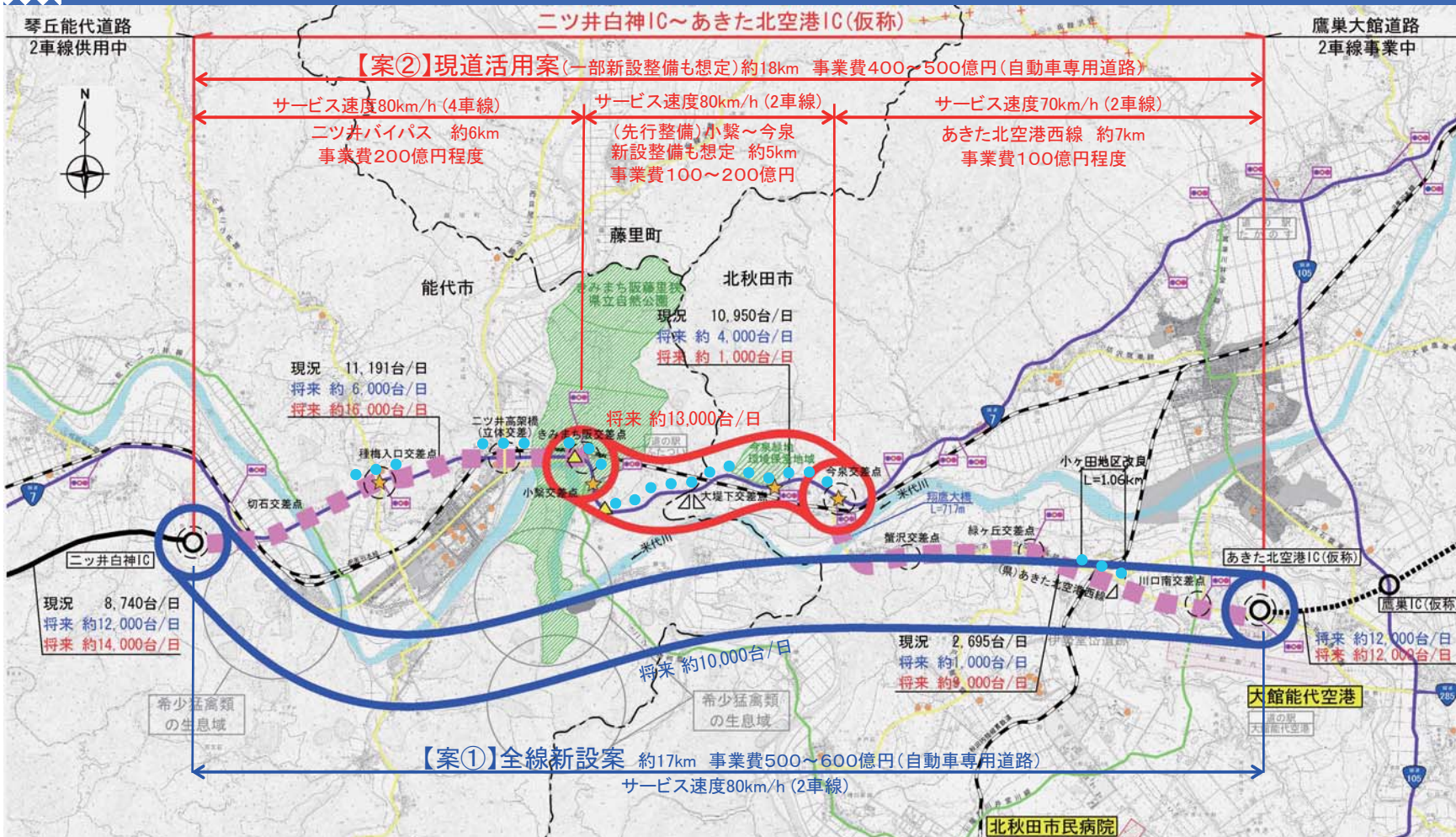
当該区間の高速道路整備にあたって、私たちは、**全線新設案(従来どおりの新しい高速道路を造る案)**と、**現道活用品(現在の道路を有効活用して高速道路を造る案)**の2案を検討しています。それぞれの特徴を踏まえて、どちらが良いか皆様のご意見をお聞かせ下さい。

※みなさまからのご意見は計画段階評価※での地域からの意見として「社会資本整備審議会 道路分科会東北地方小委員会」に報告いたします。



国土交通省能代河川国道事務所 秋田県 県北地域の市町村(能代市、北秋田市、大館市、鹿角市、三種町、八峰町、藤里町、小坂町、上小阿仁村)

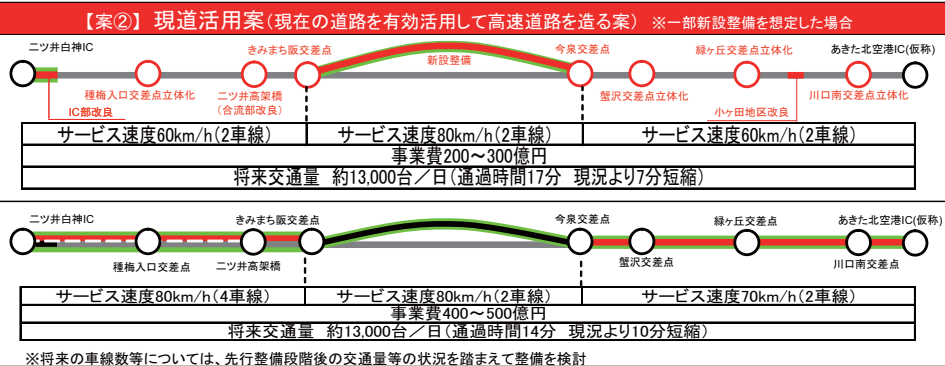
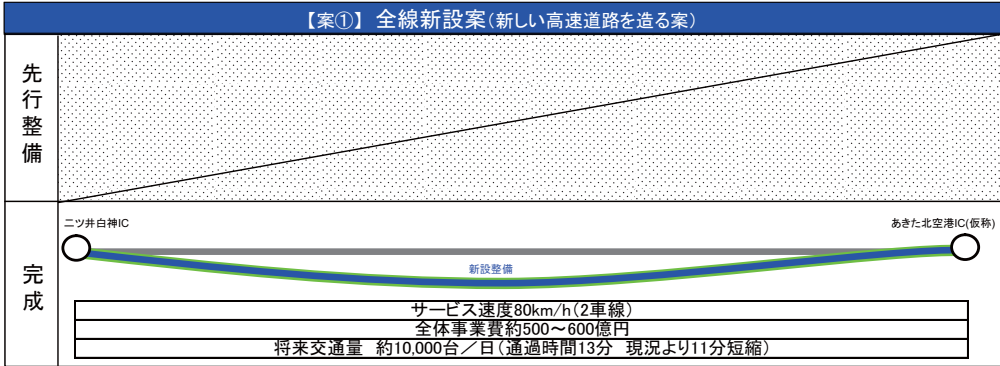
【案①】全線新設案(新しい高速道路を造る案)と、【案②】現道活用品(現在の道路を有効活用して高速道路を造る案)の2案を検討しています
※それぞれの特徴は裏面にまとめていますのであわせてご覧下さい



凡例	
	供用中区間
	事業中区間
	一般国道
	主要地方道
	一般県道
	事故が多く発生する箇所
	法面崩壊等のおそれのある箇所
	急勾配箇所
	冬期速度低下箇所
	学校・幼稚園・福祉施設等
	アクセスポイント
	案① 全線新設区間
	案② 新設整備も想定する区間
	案② 現道活用区間

交通量凡例	
●	現況交通量(H17(ただし琴丘能代道路はH21))
○	案① 将来交通量推計値(H42)
◇	案② 将来交通量推計値(H42)

【段階整備のイメージ】



【凡例】

- 現道
- 案①整備箇所
- 案②整備箇所
- 整備済箇所
- 自動車専用道路

※通過時間は
ニツ井白神IC~
あきた北空港IC(仮称)間

※将来の車線数等については、先行整備段階後の交通量等の状況を踏まえて整備を検討

日本海沿岸東北自動車道 二ツ井白神IC～あきた北空港IC(仮称)間の 計画検討に関するアンケート

意見募集のチラシをご覧ください、皆様のご意見をお聞かせください。

アンケートの記入方法

●回答は添付の返信用ハガキにご記入ください。

また、インターネットによる回答も可能となっておりますので、下記アドレスからアクセス願います。

能代河川国道事務所 アンケートページ

<http://www.thr.mlit.go.jp/noshiro/enquete/enquete.htm>

(東北地方整備局、秋田県、県北地域の各市町村ホームページのバナーも御利用いただけます。)

質問①

あなた自身についてお聞きします。二ツ井白神ICから”道の駅たかのす”付近の利用頻度についてあてはまる番号を1つ選び、回答欄の□にチェックをお願いします。

1	毎日	4	ほとんど利用しない
2	週に数回程度	5	利用したことがない
3	月に数回程度		

質問②

二ツ井白神ICから”道の駅たかのす”付近の主な利用目的についてあてはまる番号を全て選び、回答欄の□にチェックをお願いします。(複数回答可)

1	通勤・通学	4	業務(営業・運送等)
2	通院	5	観光・レジャー
3	家事・買い物	6	その他

質問③

国道7号の二ツ井白神ICからあきた北空港IC(仮称)間には、どのような交通問題があると思いますか?あてはまる番号を全て選び、回答欄の□にチェックをお願いします。わかる範囲で場所もお答えください。なお、「5. その他」を選んだ方は「その他」の欄に問題と思われることをご記入ください。

1	交通混雑の発生	4	冬季の混雑や事故
2	交通事故の発生	5	その他
3	通行止め時の迂回路が無い		

返信用ハガキの記入例

質問	記入例を参考に記入してください				
①	<input checked="" type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5
②	<input type="checkbox"/> 1	<input checked="" type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input checked="" type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5
	<input type="checkbox"/> 6 その他 ()				
③	<input type="checkbox"/> 1	場所 ()		<input type="checkbox"/> 2	場所 ()
	<input type="checkbox"/> 3	場所 ()		<input checked="" type="checkbox"/> 4	場所 (あけぼの町)
	<input type="checkbox"/> 5	その他 ()			
④	<input checked="" type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3		
⑤	<input checked="" type="checkbox"/> 1	<input checked="" type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	
	<input checked="" type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 6	<input type="checkbox"/> 7		
	<input type="checkbox"/> 8 その他 ()				
⑥	<input checked="" type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2			
	選んだ理由 (今の道路よりも走りやすく、広い道路にしてほしいから)				
⑦	集落を分断しないでほしい				
⑧					
⑨	道路の幅が広い、安全な道路を作ってほしい				

ご協力ありがとうございました。

※裏面に続きます。

※こちらは裏面(表面からの続き)です。

質問④

二ツ井白神 IC～あきた北空港 IC(仮称)間に道路の整備は必要だと思いますか?あてはまる番号を**1つ選び**、回答欄の□にチェックをお願いします。

1	必要だと思う	質問⑤へ ↓
2	必要だと思わない	質問⑧へ →
3	どちらともいえない	質問⑨へ →

質問⑤ 質問④で「1」を選んだ方にお聞きします

必要と考える道路はどのような役割を持つ道路ですか?あてはまる番号を**全て選び**、回答欄の□にチェックをお願いします。なお、「8. その他」を選んだ方は、「その他」の欄に担って欲しい役割をご記入ください。(複数回答可)

1	早く走行できる道路	5	農作物、材木等の出荷先をつなぐ道路
2	交通事故が少ない道路	6	観光地や空港をつなぐ道路
3	災害に強い道路	7	企業間をつなぐ道路(リサイクル関連等)
4	救急病院に早く行ける道路	8	その他

質問⑥へ ↗

質問⑥

道路整備の比較案を示しておりますが、どちらの案が良いと思いますか?あてはまる番号を**1つ選び**、回答欄の□にチェックをお願いします。また、**選んだ理由**をご記入ください。

1	【案①】全線新設案 (新しい高速道路を造る案)
2	【案②】現道活用案 (現在の道路を有効活用して高速道路を造る案)

質問⑦

今後、具体的なルート検討にあたって配慮すべき事項があればお聞かせ下さい。

質問⑧ 質問④で「2」を選んだ方にお聞きします

必要だと思わない理由についてお聞かせ下さい。

質問⑨

その他ご意見がありましたらお聞かせ下さい。

※アンケートハガキの回収方法は、ポストもしくは下記に設置してある投函BOXへ平成23年2月28日まで投函をお願いします。

[投函BOX設置箇所]

秋田県山本地域振興局 秋田県北秋田地域振興局 秋田県鹿角地域振興局
秋田県北の各市町村役場並び支所 道の駅「ふたつ」「たかのす」「ことおか」「やたて」

ご協力ありがとうございました。